

目 次

音楽教材「Music Workbook」におけるその制作の過程と実施経過の報告 青山雅哉・小川純子・上野稲子 (1)	
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部におけるFD活動の報告(1) 石田雅弘 (11)	
外食産業におけるアルバイトの活用に関する研究 — 大学生をはじめとする若年層に焦点を当てて — 石田秀朗 (25)	
斑鳩町龍田神社狛犬と多筋扇尾 — 江戸時代浪花狛犬の1グループ — 磯辺ゆう (39)	
携帯型ゲーム機のグラスレス3D映像視聴による影響 高岡昌子 (63)	
生活困窮家庭における不登校生徒への訪問による心理面接 高橋千香子 (71)	
預かり保育の在り方についての一考察(3) — コーナー保育の方法的特性の視点から — 恒岡宗司 (83)	
バスケットボールのより効果的な練習方法 — 低身長チームの為に — IV. 基礎体力 永保 司・大畑昌己 (103)	
保育者養成校に求められる学生の保育実践能力と資質について 林 悠子・森本美佐 (123)	
保育者養成校における安全教育 — 学生が保育所実習で体験したヒヤリハット認知場面の分析から — 森本美佐 (131)	
教材として英語絵本の活用(2) — 英語絵本の多読授業 — 昆布孝子 (139)	
芸術と教育IV — 地域への発信：造形表現「夢のたまご」を通して — 筒井通子 (149)	
現代スポーツを考える — スポーツにおける和製英語について — 岡部修一・山中愛美 (157)	

紀要執筆要項

- 1、横書き和文原稿は46文字36行（A4 1656文字）、縦書き和文原稿は67文字25行（A4 1675文字）、英文原稿は横書き和文に準ずるものとする。
- 2、投稿できるのは、本学教員及び教授会で認めた者である。
- 3、原稿は他誌に未発表のものであること（学会口頭発表はこの限りにあらず）。他者の研究成果を引用する場合は、出典を明記すること。図表（楽譜を含む）はオリジナルであること。既発表の図表を改作した場合はそのことを明示し、そのまま引用する場合は著作権者の承諾を事前に受けること。図表、楽譜等を含め、原則仕上がり12ページ程度とする。ただし、英文原稿の和文題名以下（5参照）は投稿規程文字制限外とする。
- 4、原稿提出は、デジタルデータ（本文：ワード、一太郎、図表：エクセル、JPG、その他）に、印刷原稿1部をつけるものとする。
- 5、原稿記載の順序は以下のとおりである。

和文原稿：表題、著者名、著者所属、英文表題、英文著者名、英文所属、抄録、キーワード（5語以内以下同じ）、本文、謝辞、引用文献、参考文献

英文原稿：表題、著者名、著者所属、抄録 abstract、キーワード、本文、謝辞、引用文献、参考文献、和文題名、和文著者名、和文抄録

短期大学部所属の場合、著者所属を省くことができる。連名で投稿する場合は、氏名の後肩に番号を附し、その番号に基づき所属を記載すること。連絡先（著者名、郵便番号、住所、所属先）を1ページ目脚注に入れる。目次・CONTENTSにおいて、題名は、目次：原題表記、CONTENTS: すべて英文とする。

- 6、原稿表記は以下のとおりである。

和文句読点：「、。」または「. .」。章・項目表記：順次 1. → 1.1 → 1.1.1。

フォント：（目安）

（和文原稿）本文 — 明朝10pt。タイトル・氏名 — 太明朝、タイトル20pt（英 Times 15pt）、サブタイトル14pt、氏名14pt（英 Times 12pt）。各章・大項目タイトル — ゴチック12pt、その前に2行、後に1行空ける。文献 — ゴチック8pt

（英文原稿）Times New Roman、タイトル16pt、サブタイトル14pt 氏名14pt、大項目12pt、本文・文献10.5pt

- 7、文献は引用順に番号をつけて記載する。本文中には右肩上付き番号¹⁾、²⁾として示し、文末に来る場合読点を最後とする — 例「・・・である¹⁾。」 — 。文献表記は、原則執筆者の所属学会機関紙の様式に従うが、表記内容の順番は以下に準ずるものとする。

論文：著者名（発行年）タイトル名 雑誌名 巻・号：ページ

単行本：著者名（発行年）タイトル名 書名 ページ 発行所

参考文献を入れる場合は、別項目で、著者名のアルファベット順の表記とする。

- 8、図表には通し番号をつけ、本文中に引用する。図表を原稿本文中にあらかじめ挿入しておく場合、仕上りの形で挿入する。図の題名と説明は図下に表記する。別に提出する場合、挿入位置を、印刷原稿の右横欄外に赤で示し、仕上がりサイズを図表に示しておく。この場合、図の題名と説明は、別途一括して作成し原稿につけること。いずれの場合も表の題名は表の上に、注は下につけておくこと。図表の位置は、印刷の都合により移動することがあるので、本文中では移動できる表現をとっておくこと。図表として扱わず、本文の一部として扱う場合は通し番号を付けない。その場合途中でページ変更がありうるものとする。

平成26年10月31日印刷
平成26年11月1日発行

紀要 第45号

編集者 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部
発行者

奈良市中登美ヶ丘3-15-1

発行所 奈良学園大学奈良文化女子短期大学部
電話 0742-93-5400番代

印刷所 橋本印刷株式会社
奈良県葛城市竹内
電話 0745-48-2305番